

再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(技術開発個別課題)
研究開発課題評価(令和5年度実施)
事後評価結果報告書

研究開発課題名	脳梗塞に対する造血幹細胞を使った細胞治療の作用機序に基づく最適化
代表機関名	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
研究開発代表者名	田口 明彦
全研究開発期間	令和2年度～令和4年度

1. 総合評価

・良い

【評価コメント】

脳梗塞に対する造血幹細胞移植の血管再生促進メカニズムや脳神経機能再生促進メカニズム、さらに間葉系幹細胞移植との違いについて、それら解明の一端を担う成果が得られたことは、幹細胞を用いた再生医療に資すると期待できる。加えて、企業との共同研究が継続されていること、論文が順調に掲載されており、積極的な研究成果の発信に努めていることは評価できる。他方、作用機序の詳細を示す定量的なデータの取得においては十分とは言えず、確実性と有効性の高い脳神経機能再生治療を実現する上で引き続き基礎的な検討を積み重ねていくことが望まれる。また、今後の研究や臨床開発に関しては、研究成果の権利化の状況や実用化に向けた展開に懸念が残る。

以上